

あゝが隊 新聞



本多
紗智



前田
美沙



西野
明花



片山
素晴

Vol. 86

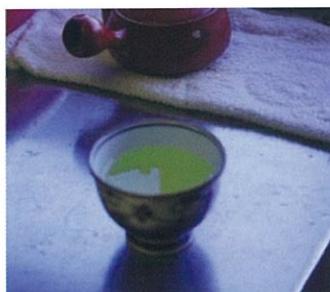
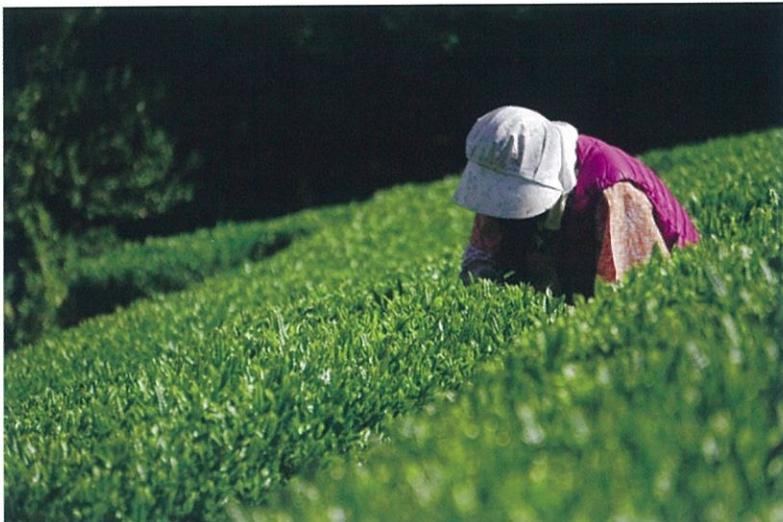
2020年6月25日

編集者：本多紗智

まえたの天龍山暮らし～入門～



文：前田美沙



素晴らしい暮らし



(記・片山素晴)

さて、今月の農林業公社です。所属する野菜班が管理する作物の生育はとても順調で、ズッキーニは毎日数箱出荷でき、パプリカも10cmオーバーの実がついてきています。ていざなすも普通のナスでは見たことのない大きさになつており、これからがとても楽しみです。あと、お茶と水稻の班があるのですが、それぞれ順調との事です。水稻班にも田んぼの写真を撮ってきてもらい、facebookで紹介させていただきたいと思います。

天龍村地域おこし協力隊に着任し、6ヶ月が経ちました。主に天龍農林業公社の一員として、農業に携わってきました。今まで健康のため、山に登ったり、長距離散歩をしてましたが、現在、寝ても覚めても体のどこかが痛い日々を送っています。

天龍農林業公社としてのあと半年は、天龍村に来るまでに蓄えた知識・経験と天龍村に来てから学んだ事を統合し、より地域の方に納得していただけよう、農地整備及び地域貢献できるよう頑張りたいと思います。

刻々天龍村 水無月便り

ここにちは。梅雨に入りましたね。最近は引き続き薬草＆野草の勉強と加工をしたり、写真広報誌・春号の編集がようやく終わつたので、夏号の構想をしたり、聞き書き冊子の新規聞き取りをさせていたいたりしています。

梅雨十コロナのため、遠出することもなく、外仕事の時間も減つているため(草刈りはしますが)自宅で梅や山菜、山椒の実など季節の食材を加工したり、向方の方に教えてもらつた「朴葉もち」を作つみたりと、家の中であれこれ作つて、気づけば台所にいる時間が長いです。

ところで、料理といえば、天龍村としての伝統料理というものはあまり無いようなのですが、「家庭の味」は無数に存在していると思うので、村を周つてみなさまの「家庭の味」についてお話を聞き、何かにまとめられたら面白いなあと思つています。
(文・本多紗智)



定植したばかりの様子 5/19撮影



六月に入り、お茶の整枝作業や草刈りも始まつたのでそれもまた頑張ります。

ついでなすは村の伝統野菜なので一生産者として守つていただきたいです。

全村を5日間で回る予定ではありますが、天龍村の広さと人の多さにびっくりします。本当に回り切れるせんだろうかと不安になりますが、工夫しながら回らせていただきたいと思います。

「今はまだ車に乗れるから、乗れなくなつたらお願ひしたいよ」そんな言葉をかけてくださる方がほとんどです。買い物に困つてはいなけれど、使つてみるねと注文をくださる方もいます。今までこのような事業が始まらなかつたということは、皆さんそれぞれが知恵を出したり、離れた家族と連携しながら、健康第一で暮らしてきたのだなと思ひます。まずは見守り事業を重視しながら、買い物支援が必要となるまで、気長にこの事業を続けていきたいと思います。

五月は十一日で茶摘みが終わり、ていざなすの畠立て、定植を行いました。定植後は支柱を立てる棚作りや支柱立てを行い、毎日水やりも行つています。水は水路から引張つて一度タンクに入れ、そこから灌水チューブに水を通して行なつています。その仕組みを作るのは若干手間がかかりましたが一度出来てしまふとコツクをひねるだけ水やりが出来るので簡単です。

五月の活動 篠田 大樹

いよいよ6月半ばになり、ご用聞き配達事業が始まります。先週はあいさつ回りも含めて事業の案内をしたり、買い物事情を聞かせてもらひながら、実際のルートで村内を回りました。

~買物ご用聞きの舞台裏の物語~

★★★
BACKSTAGE

現在あいさつ回りは350軒ほど行かせていただき、まだいけないお家もあります。可能な限り行かせていただきますので今しばらくお待ちください。

